

小児期のがんとリハビリテーション

Childhood cancer patients and rehabilitation

がんのリハビリテーションは、予防・回復・維持・緩和期とさまざまな時期で広く行われるようになり臨床での経験・知見も蓄積してきていますが、小児期のがんについてはまだまだ臨床現場で悩みながら個々に対応していることが多いのが現状であると考えられます。そこで本特集は、小児期のがんについてその基本的な知識を整理し、リハビリテーションを施行していく際のポイントなどについて、それぞれの立場からご解説いただきました。

小児期のがんの基本的な知識 横須賀とも子氏…………… 1053

小児がんの発生頻度は1万人あたり約1人と報告される。小児がんの治療は、抗がん剤・放射線治療・手術などの治療を組み合わせて集学的に行われ、治療の予後が改善されており、小児がん経験者も多くなっている。脳腫瘍術後合併症や、化学療法に関係した末梢神経障害・脳症・白質脳症や認知障害、放射線療法に関連した神経障害、造血細胞移植に伴う神経学的合併症など、がんやその治療に関係した神経学的合併症について概説した。一過性のものもあるが、長期的な神経行動障害・認知障害を呈することもあり、長期的な経過観察が必要とされる。

小児血液がん患者に対するリハビリテーション 井口陽子氏ら…………… 1059

小児血液がんでは、急性リンパ性白血病・急性骨髄性白血病・non Hodgkin リンパ腫の頻度が高い。病型に応じた治療アルゴリズムがあり、入院治療が長期にわたることも多いため、廃用症候群の予防が重要である。乳幼児などでは、遊びなどを通して、児の年齢や発達年齢に合わせたリハビリテーション治療を行う。入院中に運動を行うことは、退院時にQOLや疲労の改善、治療後の肥満の軽減につながる事が報告されている。小児がんの晩期合併症は多くみられ、退院後の学業復帰や通学・課外活動に制限を来す可能性があり、入院中に認知機能の評価を行い、配慮や指導を行うことが必要であると同時に、外来でもチーム医療を継続していくことが必要である。

骨軟部腫瘍医からみた小児骨腫瘍患者に対する
リハビリテーション 廣瀬 毅氏ら…………… 1065

悪性骨・軟部腫瘍の代表的なものに骨肉腫、ユーイング肉腫があり、化学療法・手術・場合によっては放射線療法といった集学的治療が行われる。手術では、切除後に骨・関節再建を行う患肢温存術が多く行われているが、長期的な経過における人工関節のゆるみや成長に伴う脚長差などにも生じることを考慮に入れて術式を決定する必要がある。リハビリテーションは術前から介入し、術後も早期から介入するが、痛みや不安を軽減したうえで行う。また切除量によって目標となる可動域やリハビリテーションスケジュールが異なるため個々にゴール設定することが重要である。

小児脳腫瘍患者に対するリハビリテーション 温井めぐみ氏ら…………… 1073

小児脳腫瘍は、小児において白血病に次いで多く、小児がん全体の 20% を占める。治癒率や生命予後は飛躍的に改善しているが、現在でも脳腫瘍は死亡の最大の要因であり緩和医療の対象となることも多い。小児の脳腫瘍は、非交通性水頭症を合併する頻度が高く、水頭症に起因する症状に注意が必要である。腫瘍の影響、水頭症の影響、治療の影響により脳神経症状が出やすいため、病巣・治療部位と出現した症状に合わせて急性期からリハビリテーションを行う。小脳原発腫瘍術後の、小脳性無言症候群にも早期介入が有効とされている。退院後も、知能低下、高次脳機能障害、精神症状などの神経心理学的合併症が学校生活に大きな影響を及ぼすため、本人家族や教育関係者などに現状評価や対応方法を伝えていくことが必要である。

小児がんサバイバーとリハビリテーション 清谷知賀子氏…………… 1079

小児がんは現在では約 80% が長期生存を望めるようになっている。成長発達期のがんの罹患や治療により、内分泌障害、成長発達障害、生殖機能障害、二次がんなど晩期合併症とよばれるさまざまな問題を生じる。それらは小児期発症の慢性疾患として位置づけられ、長期的な対応を求められるようになってきている。全国的にも長期フォローアップ体制の整備が進められ、本人がその年齢や発達状態に合わせて自分が受けた治療の説明を受け、自ら合併症の理解を深めていけるようなトランジション・ステッププログラムが生まれ、多職種での支援の充実のための教育・普及活動も行われている。

書評 お知らせ	《標準言語聴覚障害学》地域言語聴覚療法学（評者：長谷川幹）……………	1138
	兵庫医科大学リハビリテーション医学教室主催セミナー……………	1078
	2019 年度ユニサポートリハビリテーション研究会第 3 回研修会……………	1137